

時間割コード	G2B45308	開講年度	2026				
授業題目	漢文学ゼミ					担当教員	氏岡 真士
英文授業名	Chinese classical literature						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・5時限	対象学生	全
講義室	共通教育313 演習室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学DP				受講生は自律的な研鑽によって、漢文で書かれた情報を収集し、理解し、その結果を発信 することが一定程度できるようになる。		
	的確に情報を収集し、理解し、発信する力						
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	いわゆる漢文は、端的に言えば中国の古典文ですが、しばしばそれを日本語の古典文として読もうとする場合の対象を含意します。 そのような漢文で書かれた作品について、まずは音読ができることを第一の目標としたうえで、さらに語彙・文法や話題の背景など、内容理解に必要な事柄を学び、応用してゆく。 およそ上記の能力を高めるべく、日々の積み重ねに取り組みましょう。						
(5)授業のキーワード	漢文学，グループワーク						
(6)授業計画	ゼミですので、各自が担当箇所について作成・配布した資料を参照しつつ、作品を輪読し、質疑応答や意見交換などのかたちで内容を検討してもらいます。 1．各自の腕試し 2．解説と俯瞰 3．雙林鎮燕青遇故 4．宋公明兵渡黄河 5．盧俊義賺城黑夜 6．振軍威小李廣神箭 7．打蓋郡智多星密籌 8．李逵夢鬧天池 9．宋江兵分兩路 10．關勝義降三將 11．李逵莽陷衆人 12．宋公明忠感后土 13．喬道清術敗宋兵 14．幻魔君術窘五龍山 15．入雲龍兵圍百谷嶺						
(7)成績評価の方法	1．音読 2．和訳（内容理解） 3．質疑応答（意見交換） 以上の諸点を等価とします。						
(8)成績評価の基準	毎回の授業において、上述の諸点が適切にできた割合を合計し、100点満点に換算して判定します。						
(9)事前事後学習の内容	1．上述の諸点に留意して予習をし； 2．授業によって必要事項を明確に把握し； 3．把握した事項を次の予習に生かすことが、すなわち復習です。 この授業は90時間の学修を必要とする内容であり、従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(10)履修上の注意	授業をペースメーカーに、予習・復習を積み重ねることが； あなた自身の実力を養い、成績評価にもつながります。 初回から能動的に参加することが、その第一歩です。 * 状況によっては念のため、開講前々日までにeALPSを確認しておくこと。						
(11)質問,相談への対応	できるかぎり随時、歓迎します。 詳しくは、初回の授業で。						
(12)授業への出席	全ての回に出席することを基本とします。必要な準備や予習・復習をしたうえで、授業への能動的な参加をしなければ、結果としてそれ相応の評価しかできません。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	他の受講生と連絡を取り合い、互いに自律的に必要な学習の補充ができるような関係性を築ておくことが大切です。 * 「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は、共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請をおこなうこと。						
【教科書】	通俗忠義水滸伝 （寶暦七-寛政二年（ 1757-1790 ）刊本。近世白話小説翻訳集第 6 -11巻、汲古書院1987年参照						

【参考書】	授業中に適宜紹介します。
-------	--------------